

宇都宮大学×JAF 栃木支部
交通安全プレイマットプロジェクト

大人も子どもと学べるプレイマット

－ LRT があるまちの交通ルール －



遊び方ガイド

JAF 栃木支部

【はじめに】

＜宇都宮大学×JAF 栃木支部 交通安全プレイマットプロジェクトとは＞

子ども向けの「交通ルールを学べる」ミニカープレイマットを、宇都宮大学地域デザイン科学部の学生たちと JAF 栃木支部が共同で制作し、それを公立保育園や子どもの家などへ寄贈することで、交通安全教育への活用や子どもたちが遊ぶ際に使っていただき、子どもとその保護者の交通事故防止に繋げることを目的としたプロジェクトです。プレイマットは贈呈すると同時に、データを JAF 栃木支部のホームページ上で無償公開し、ご家庭で印刷して遊べるようにすることで、より多くの子どもとその保護者の交通事故を防止することを目指しています。

＜大人も子どもと学べるプレイマット - LRT があるまちの交通ルール - とは＞

ミニカーで遊べるよう道路などが描かれているマット状のおもちゃである「プレイマット」に、信号機や横断歩道、標識など交通ルールを学べる要素を、実際の交通ルールや道路構造に可能な限り則して配置することで、遊びながら交通ルールを学べる構造としたマットです。また、LRT やラウンドアバウトといった「宇都宮市ならではの」要素や、ドライバー目線でも大切な要素なども配置することで、児童を遊ばせる保護者にも交通ルールの再確認を促す構造としています。

＜交通安全プレイマット公開ページ＞

JAF 栃木のご当地情報 交通安全プレイマット特設ページ

<https://jaf.link/3UPmPcP>



＜制作風景＞



【遊び方例】

子どもたちに自由に遊んでもらう

子どもたちが遊ぶ場所にこのプレイマットを置いておき、思い思いに遊んでもらいます。プレイマット内には様々な交通ルールが散りばめられており、その交通ルールはこの「使い方ガイド」に説明が記載されています。もし、子どもたちが遊んでいる中で交通ルールに疑問を感じたときは、この「使い方ガイド」を使って教えてあげてください。

交通安全教育時に使用

横断歩道や信号機など、子供たちが知っておくべきルールがプレイマットには含まれています。ミニカーや人形などを使ってプレイマット上で交通ルールを教えることで、より視覚的にわかりやすく指導することもできます。

交通安全クイズ

この「使い方ガイド」には、プレイマット内に配置されている表示器や路面標示、その他構造物の説明が写真付きで記載されています。その写真と同じものをプレイマット内から見つけてもらい、その見つけてもらった標識・標示などに関する解説をする、という使い方でもできます。

【道路標識①】



いちじていし <一時停止>

この標識のある場所では、車両は停止線または交差点の直前で一時停止しなければなりません。自転車に乗っている場合も、必ず一時停止しましょう。



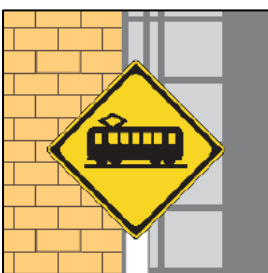
ほ こうしゃおうだんきんし <歩行者横断禁止>

この標識のある場所では、道路を横断してはいけません。特に、交通量が多い場所などに設置されています。道路を渡る時は必ず横断歩道を使いましょう。



ふ つう じてんしゃとうおよ ぼ こうしゃとうせんよう <普通自転車等及び歩行者等専用>

この標識のある場所では、自転車と歩行者のみ通行できます。この標識が無い歩道でも、13歳未満が運転する自転車であれば通行できます。



ふみきり <踏切あり>

この標識は、前方に踏切があることを示しています。車両は、踏切をとおる場合には、一時停止と安全確認をしなければなりません。

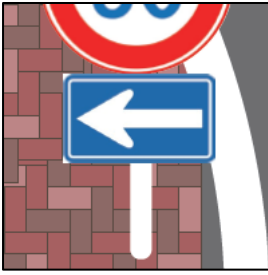
※踏切に信号機がある場合を除きます。



おうだん ほ どう <横断歩道>

この標識は、横断歩道があることを示しています。横断歩道は歩行者優先のため、横断しようとする歩行者がいた場合、車両は横断歩道の直前で一時停止して譲らなければなりません。

【道路標識②】



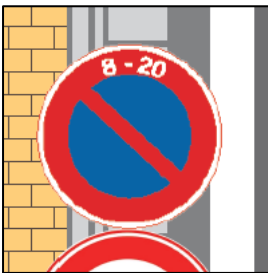
＜一方通行＞

この標識より先は、車両はこの矢印の方向にしか進めません。
「自転車を除く」「軽車両を除く」といった補助標識がある場合を除いて、自転車も一方通行の道路を逆走できません。



＜車両進入禁止＞

この標識のある場所では、車両は進入できません。「自転車を除く」「軽車両を除く」といった補助標識がある場合を除いて、自転車も進入できません。



＜駐車禁止＞

この標識のある場所では、車両を駐車することはできません。標識のうえか、数字は、駐車禁止になる時間を示しています。



＜最高速度＞

この標識に示されている速度以上で、車両は走行してはいけません。
速度の出しすぎは危険なので注意しましょう。



＜学校、幼稚園、保育所等あり＞

この標識は、前方や周囲に学校や幼稚園、保育所などがあることを示しています。子どもの急な飛び出しなどの恐れもあるため、特に注意して走行しましょう。

【道路標識③】



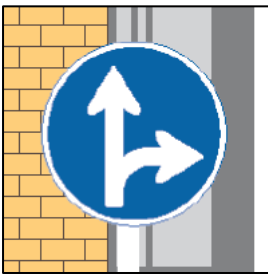
＜^{てんかいきんし}転回禁止＞

この標識のある場所では、車両は^{しやりよう}転回（Uターン）^{てんかい}をすることができません。



＜^{おおがたかもつじどうしゃとうつうこうど}大型貨物自動車等通行止め＞

この標識は、大型トラックがこの先の道路を^{しめ}通行できないことを示しています。



＜^{していほうこうがいしんこうきんし}指定方向外進行禁止＞

この標識は、矢印が示す方向以外への車両の^{きんし}進入を禁止しています。「^{じてんしゃ}自転車を除く」「^{けいしゃりよう}軽車両を除く」といった補助標識がある場合を除いて、^{じてんしゃ}自転車も^{しんにゆう}進入できません。



＜^{たか}高さ^{せいげん}制限＞

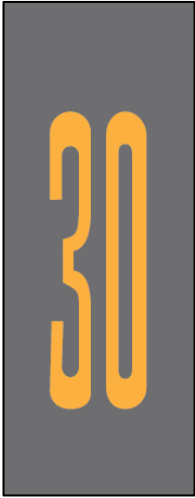
この標識は、標識で指定する高さを^{しめ}超えた車両が、この先^{さきつうこう}通行できないことを示しています。



＜^{かんじょう}環状の^{こうさてん}交差点における^{みぎまわ}右回り^{つうこう}通行＞

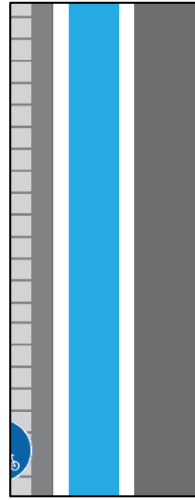
この標識は、環状の交差点（ラウンドアバウト）において、車両が^{みぎ}右まわりに^{つうこう}通行することを指定する標識です。ラウンドアバウトは^{こうさてん}交差点内を^{つうこう}通行している車両が^{しんじゆん}優先です。また、ラウンドアバウトから^{ひだり}出るときは左ウインカーを^{かならず}必ず^だ出しましょう（^{しんにゆうじ}進入時は^{ふよう}不要）。

【路面標示①】



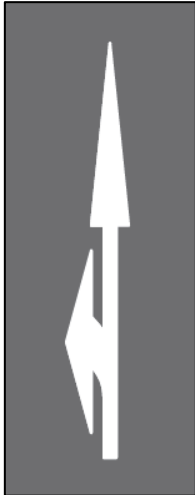
＜最高速度＞

この標示に示されている速度以上で、車両は走行してはいけません。速度の出しすぎは危険なので注意しましょう。



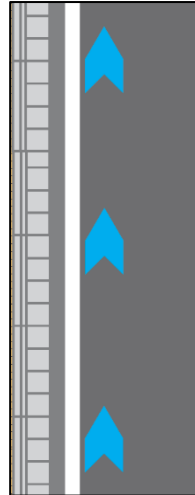
＜普通自転車専用通行帯＞

自転車が行きべき場所を示しています。これがある場合、自転車はここを走る必要があります。相互通行はできないため、道路左側の通行帯を走りましょう。



＜進行方向＞

この標示は、交差点で車両が行きできる方向を示しています。矢印の方向以外には進行できません。



＜矢羽根型路面標示＞

自転車が行きべき場所を示しています。自転車は車道の左端を、矢羽根に沿って走りましょう。逆走は危ないので絶対にやめてください。



＜横断歩道または自転車横断帯あり＞

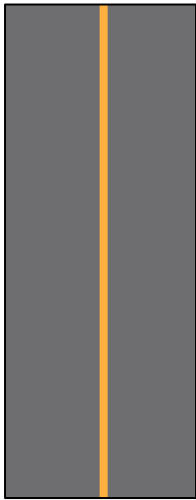
この先に横断歩道または自転車横断帯があることを示す標示です。横断歩道に横断者がいたらすぐ止まれるように注意しましょう。



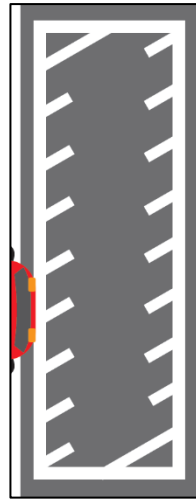
＜止まれ＞

この標示のある場所では、車両は停止線または交差点の直前で一時停止しなければなりません。自転車に乗っている場合も、必ず一時停止しましょう。

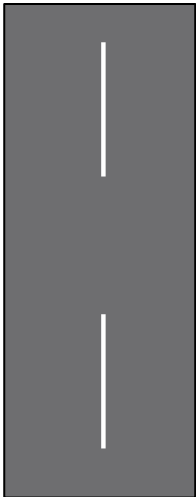
【路面標示②】



＜中央線＞
 対向車線との境界を表す
 標示です。オレンジの実線
 は「追越のためのはみ出し」
 を禁止し、白の破線は追
 越し可能です。他にも色々
 な種類があります。



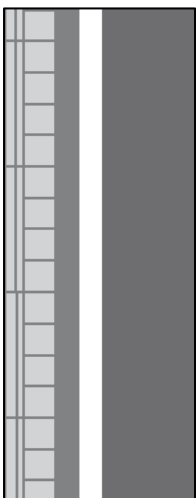
＜停止禁止部分＞
 この標示の中に入って停止
 してはいけません。渋滞など
 で車両を停止させる場合
 は、標示の手前で停止しま
 しょう。



＜車両境界線＞
 道路を複数の車線に分け
 ている標示です。白の破線
 の区間は車線変更や追越
 しができ、オレンジの実線の
 区間は車線変更と追越し
 が禁止となります。



＜導流帯＞
 ゼブラゾーンとも呼ばれ、
 交差点の手前や車道の
 中央部などに設けられてお
 り、円滑な走行を誘導する
 標示です。



＜路側帯＞
 車道と歩行者の通行部分
 を分けるための標示です。
 軽車両・自転車以外の
 車両は路側帯を通行でき
 ません。白色の実線以外
 にも種類があります。



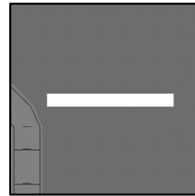
＜ゆずれ＞
 主にラウンドアバウトの手前
 に設置され、環道内の
 車両を優先するよう促すた
 めの標示です。ラウンドア
 バウトへは、他の車両に気を
 付けながら徐行して進入し
 ましょう。

【路面標示③】



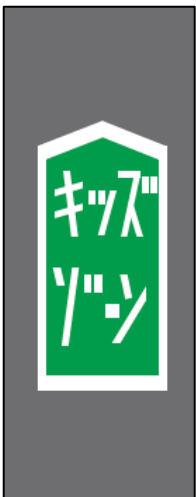
<ラウンドアバウト内の矢印>

ラウンドアバウトの環道の進行方向を示す標示です。環道は右回りかつ環道が優先ですので注意しましょう。



<停止線>

車両が停止する位置を示す標示です。横断歩道や踏切など、車両が一時停止しなければならない場所に設置されています。



<キッズゾーン>

保育所等が近隣にあることを示す標示です。散歩や登園、降園などのために、子どもが集団で通行しますので、特に気を付けて走行しましょう。



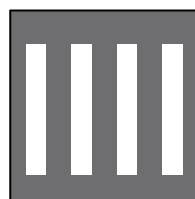
<交差点クロスマーク>

その場所が交差点であることを示す標示です。出会い頭での事故に気を付けながら走行しましょう。



<ゾーン 30 プラス>

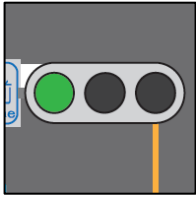
生活道路における人優先の安全・安心な通行空間を作る「ゾーン 30」に、さらに対策を行っている「ゾーン 30 プラス」を示す標示です。生活道路ですので、特に注意して走行しましょう。



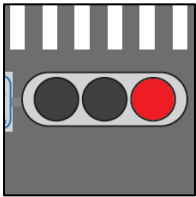
<横断歩道>

歩行者が道路を安全に渡れるよう示している標示です。歩行者はなるべく横断歩道で道路を横断し、ドライバーは横断者がいたら必ず一時停止をして譲らなければなりません。

【信号機】



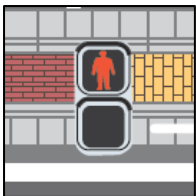
あおしんごう
青信号



あかしんごう
赤信号



あおしんごう
青信号



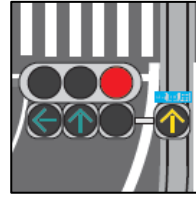
あかしんごう
赤信号

<信号機>

事故が起きないように、歩行者も車両も信号機に従う必要があります。青信号は、歩行者は横断でき、車両も進むことができます。黄色信号は、横断し始めたり、進んだりしてはいけません。赤信号は、歩行者は横断できず、車両は停止線を越えて進むことができません。

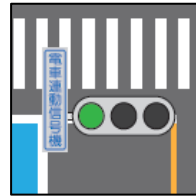
<歩行者・自転車専用信号機>

歩行者と歩道を走っている自転車用の信号機です。青信号の時は進んでも道路を渡っても良いですが、赤信号では進むことも道路を渡ることもできません。青信号が点滅し始めると、もうすぐ赤信号に変わるので、必ず次の青信号まで待つようにしましょう。



<LRT用信号機>

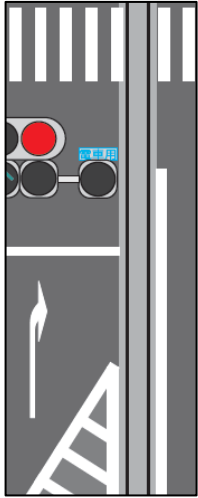
LRTの併用軌道区間では、信号機の横にLRT用のオレンジ矢印の信号機が設置されています。LRTはオレンジ矢印に従って進みますが、歩行者や自転車は歩行者・自転車用信号機に従って、車両は通常の信号機と青色の矢印に従って進むようにしましょう。



<電車連動信号機>

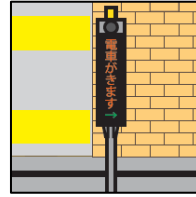
LRTの走行している一部の区間では、電車連動信号機が設置されています。この信号機が設置されている場所では、信号機がすべて赤信号のタイミングでLRTが通過します。危険ですので、絶対に信号を守るようにしましょう。

【LRT 関連構造物】



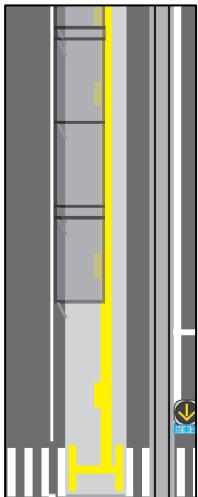
＜併用軌道＞

へいようきどう
L R T の一部走行区間
では、道路の中央部分に
軌道が敷かれている区間
があります。原則、軌道敷
内には進入してはいけ
ないので気を付けましょ
う。



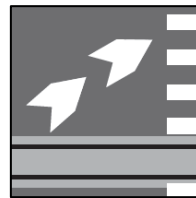
＜接近表示器＞

せつきんひょうじき
信号機がない横断箇所や
電停には、L R T の接近
を知らせる「接近表示器」
が設置されています。「電
車がきます」と表示されて
いたら横断しないでくださ
い。



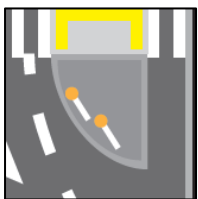
＜電停＞

でんてい
L R T に乗り降りする場
所です。併用軌道区間の
電停は道路の中央部分に
あり、横断歩道から出入り
します。電停付近では歩
行者にも注意しましょ
う。



＜矢羽根型の路面標示＞

やばねがた ろめんひょうじ
主に、併用軌道区間の交
差点に設置され、右折時
にどこを走るのかを分か
りやすくする標示です。右折時
に誤って軌道敷に進入し
ないように気を付けましょ
う。

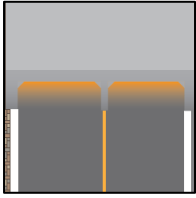


＜交通島＞

こうつうじま
電停などに設置される、ク
ルマの進入を防ぐ構造物で
す。右折時に接触したり、
自転車で横断歩道を走る
際に接触しないよう気を付
けましょ
う。

【その他構造物】

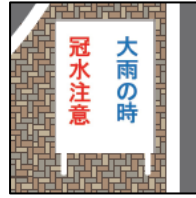
<アンダーパス>



アンダーパス



ちゅういかんき
注意喚起
ろめんひょうじ
路面標示



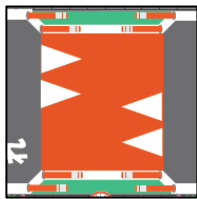
ちゅういかんき
注意喚起
ひょうじ
標識

アンダーパスとは、線路や道路などの下を通過するために周辺の地面よりも低くなっている道路のことです。踏切や渋滞を避けることができる便利な道である一方、台風やゲリラ豪雨などの大雨の際に冠水してしまう危険性もあわせ持っています。国土交通省関東地方整備局の資料によると、集中豪雨などの大雨の際に冠水する恐れがあるアンダーパスは栃木県内に105ヶ所存在しています。冠水する危険のあるアンダーパスには、冠水情報板や注意喚起の標識、水深表示などがある場合が多いですので、通行の際にはそれらを参考にして状況を判断してください。

<ゾーン30プラス>



スムーズ
おうだんほどう
横断歩道



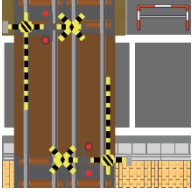
きょう
ハンプ・狭さく



ろめんひょうじ
路面標示

生活道路における人優先の安全・安心な通行空間を作る「ゾーン30」に、さらに対策を行っているのが「ゾーン30プラス」です。ゾーン30プラスに加えて、ハンプやスムーズ横断歩道、狭さくなどといった物理的デバイスを組み合わせることで交通安全の向上を図り、生活道路における人優先の安全・安心な通行空間の整備に取り組むものです。

ふみきり ＜踏切＞



ふみきり
踏切

ふみきり せんろ どうろ へいめん こうさ ぶぶん ふみきり まえ かなら た ど さゆう
踏切とは、線路と道路が平面で交差する部分です。踏切の前では必ず立ち止まり、左右
あんぜんかくにん うえ わた けいほうき な はじ でんしゃ く あいず でんしゃ
の安全確認をした上で渡りましょう。警報機が鳴り始めたら電車が来る合図です。電車は
きゆう と けいほうき な はじ ふみきりない ぜったい はい
急には止まれないので、警報機が鳴り始めたら踏切内へは絶対に入らないでください。また、
わた とき とく ふみきり む こうがわ よゆう き くぼ ひつよう
クルマで渡る時は、特に踏切の向こう側のスペースに余裕があるかどうかにも気を配る必要
があります。もし、ふみきりない うご ひと しゃりよう ばあい ひじょうていし お
踏切内で動けない人や車両がいた場合、すぐに「非常停止ボタン」を押
してください。

【プレイマット内二次元コード】

プレイマット内の各所に配置されている二次元コードは、JAF 公式ホームページの“「実写版」危険予知・事故回避トレーニング”にリンクされています。これは、運転中の「危険予測」を行うポイントを身につけるための動画です。クルマや自転車、歩行者目線で撮影された動画を使い、様々な状況でこの後どんなことが起きるのかを予測するものとなっています。プレイマット上の二次元コードは、その場所に関連した危険予知トレーニングへ飛べるようになっていますので、実際に読み込んでみて“安全に”危険を体験・予測することで、交通安全にお役立てください。

SCENE4

自転車編 その1

<https://jaf.link/4577XbL>



SCENE44

住宅街編 その5

<https://jaf.link/3OGNEwx>



SCENE8

自転車編 その2

<https://jaf.link/3Oer5xw>



SCENE58

市街地編 その3

<https://jaf.link/3QfhIFT>



SCENE15

住宅街編 その2

<https://jaf.link/3Y7D6JO>



SCENE62 交差点編

その10

<https://jaf.link/3q5P9e6>



SCENE35

交差点編 その3

<https://jaf.link/3q7r72d>



SCENE71 ラウンドアバウト編

その1

<http://jaf.link/3DxhHQL>



SCENE39

歩行者編 その2

<https://jaf.link/3KgI4OD>



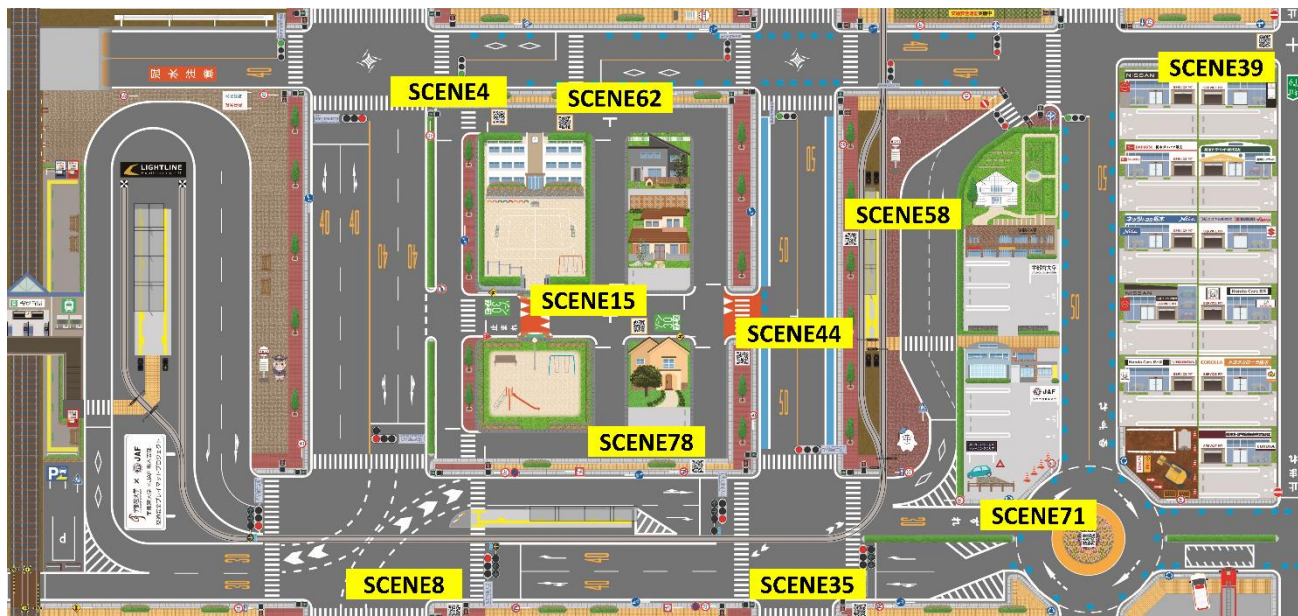
SCENE78 路面電車編

その1

<https://jaf.link/3GzKHt3>



【プレイマット内二次元コード 配置図】



【プレイマット貼り付けイメージ】





JAF

【お問い合わせ先】

JAF 栃木支部 事業課

TEL : 028-659-3231

Mail : tochigi-jigyo@o3.jaf.or.jp